

国際機関名 (英語略称)	アジア海賊対策地域協力協定情報共有センター(ReCAAP ISC)		
英文名称	Regional Cooperation Agreement on Combating Piracy and Armed Robbery against Ships in Asia, Information Sharing Centre		
種 別	<input type="checkbox"/> 国連事務局 <input type="checkbox"/> 国連事務局に設けられた信託基金 <input type="checkbox"/> 国連基金・計画 <input type="checkbox"/> 国連専門機関 <input type="checkbox"/> 国連その他補助機関 <input checked="" type="checkbox"/> その他国際機関 <input type="checkbox"/> 非国家間機関		
【所管官庁担当局課・室名】外務省総合外交政策局海上安全保障政策室			
【当該国際機関の本部所在地・活動目的等の概要】			
本部所在地: シンガポール			
活動目的等: アジア海賊対策地域協力協定(ReCAAP)は、マラッカ・シンガポール海峡等での海賊・海上武装強盗の増加を受けて、我が国が協定策定を提唱・主導して2004年に採択、2006年に発効。同協定に基づき、情報共有センター(ISC)が設立された。海賊・海上武装強盗の防止・抑止のための緊密な地域協力を促進するため、①締約国間の情報共有の促進、②独自情報の収集・分析・発信、③締約国の能力構築をISCが実施している。			
【当該国際機関の財政(2017年)】(千シンガポールドル) 出典: 2017年度会計報告書(2018年9月入手)			
	総収入(千シンガポールドル)	総支出(千シンガポールドル)	
分担金・義務的拠出金	-	-	
任意拠出金	4,854	3,206	
会計年度: 4月～翌年3月。上記は2017年4月～2018年3月の財政状況。			
会計検査機関名: ROBIN CHIA PAC (構成員の出身国: -)			
【任意拠出金の拠出上位5か国等(2017年のもの)】 出典: 2017年度会計報告書(2018年9月入手)			
	国 名	金額(千シンガポールドル)	拠出率(%)
1位	シンガポール	1,845	57
2位	日本	628	19
3位	韓国	184	6
4位	ノルウェー	141	4
5位	中国	111	3
【分担金・義務的拠出金の拠出上位5か国等(年のもの)】 出典:			
	国 名	金額(千ドル)	拠出率(%)
1位	-	-	-
2位			
3位			
4位			
5位			
【我が国による拠出の形態】			
分担金・義務的拠出金の名称及び主管官庁: -			
任意拠出金・出資金、基金の名称及び主管官庁: アジア海賊対策地域協力協定拠出金、外務省(B票参照)			
【当該国際機関で働く邦人職員(2017年12月末時点)】			
邦人職員数	2人	当該機関全体の職員数	16人
うち幹部以上	うち 1人	及び邦人職員が占める率	13%
【邦人職員が占めている幹部ポスト(Dポスト以上)】			
ポストの名称	職員氏名	備考	
事務局長	黒木 雅文	外務省OB	
【要人往来、政策対話等の実績】(過去3年分)			
<ul style="list-style-type: none"> ・2016年3月に黄川田外務大臣政務官(当時)がシンガポールにおけるReCAAP10周年会合に出席、2018年5月に日本で開催したReCAAP能力構築プログラムにおいて蘭浦総理補佐官主催のレセプションを開催。 ・毎年3月にシンガポールで開催されるReCAAP ISC総務会への外務省局長級の出席、我が方からのシンガポール出張やReCAAP事務局長訪日の機会等を活用し、同事務局長とは頻りに意見交換を実施。 			
【備考】			